

アフガニスタン女子教育支援と 五女子大学コンソーシアム

「五女子大学コンソーシアム」って何だろうと思われ方もいるでしょう。二〇〇二年四月にお茶大に、奈良女子大学、東京女子大学、日本女子大学、津田塾大学の学長が集い、アフガニスタン女子教育のための女性教員研修プログラムの共同で実施するためにコンソーシアムをつくることが協議され、五月十七日に協定は調印されました。それを受けて各



写真左側から、志村高子津田塾大学長、本田和子お茶の水女子大学長、浜島子東京女子大学長、丹羽穂子奈良女子大学長、後藤祥子日本女子大学長

大学2名からなる連絡協議会は、六月以来すでに四回の会合を開いて、アフガニスタンから教育分野の女性リーダーをお招きして女性教員の資質向上を図る研修の実施に向け活動しています。



壊れた校舎と校庭で学習するアフガニスタンの女子中学生

八月二四日から九月二日まで八名からなる事前調査団をアフガニスタンに派遣し、教育省、高等教育省、二年制の小中学校教員養成カレッジや四年制の小中高校教員養成を担っている教育大学を訪問し、研修実施

のための情報を収集してきました。また、カプールの三つの中学校では視察のみならず、顕微鏡を使った生物の授業や偏光板を使った「光は波」と題するデモンストラクション授業をやりました。夏の現地調査団報告会は、十月一六日に行われ、約九十名の参加がありました。

十一月下旬にはアフガン側から研修生の選抜や送り出しに関わる責任者七名の来日が決定し、シンポジウムが十二月四日の午後二時から本学講堂で開催される予定です。是非、参加してください。尚、来年一月にはいよいよ研修本番で約二〇名ほどの教員養成校の教官や校長クラスの女性がお茶大にやってきます。こうした事業のために各大学にはワーキンググループや学生ボランティアの組織があります。交流のチャンネルを作りますので、あなたも是非フォーラムに参加して、アフガンの方と言葉を交わしてください。 (五女子大学コンソーシアム連絡協議会座長 箕浦康子)

大学見学会(オープンキャンパス)を開催

今年度も、昨年同様、平成一四年七月二〇日(海の日)に開催して、関東地区以外からも北は東北、南は九州の各地区から日中の気温が三〇度以上になった猛暑の中、昨年を上回る約一三〇〇名が参加し盛会に終わりました。まず、午前、午後と学部全体の説明を聞いた後、各学



見学者は、興味のある研究室を廻り、教育・研究内容や卒業後の就職先などについて質問していた。

科等に別れて模擬授業の体験、質疑応答や先輩による大学生活よろず相談等によりお茶大の雰囲気を感じるとともに、空き時間を利用して、学食体験等各種イベントにも参加するなど、大変好評であり、この大学に入りたいという意欲の増大につながったと思われまます。

今回2回目となる、本田和子学長との懇談会は、受付開始後すぐ定員(六〇名)となる盛況ぶりです。受験生には大変貴重な体験となり満足していったようです。また、今回企画として、休憩室や生協食堂に展示コーナーを設け、お茶の水女子大学の歴史や学校行事等をパネル写真により紹介をして、違った意味でのお茶大を感じ取っていただけたいと思います。



熱心に研究室の紹介に関き入る見学者

なお、今回の見学会でこんなこともありました。青森県八戸から終了間際の一六時過ぎに受付に来た親子なのですが、朝六時に家を出たのに、盛岡に行く途中の電車の事故で、バスによる振替輸送でいつ着くかわからないけれど、それでも見学会(舞踊教育学コースの体験授業)に行きたいとやってきました。我々スタッフ一同その気持ちに打たれ、舞踊教育学コースにお願いした結果、三〇分の体験授業をしていただけました。(本学の見学会の心温まる出来事です。)平成一五年度の大学見学会の内容については、未定ですが、暑い時期を避けて実施してほしいなどの意見もあります。今年度と同じ時期に予定をしています。

<http://www.aio.ac.jp/> / 入試課 nyu@cc.aio.ac.jp